

<p>事業名</p>	<p>ヨコハマミライト～みらいを照らす光のまち～/ SDGs企画 『SDGsアートウォール・プロジェクト』</p>	<p>関連するゴール</p> 
<p>取組の概要 (ポイント)</p>	<p>みなとみらいエリアの冬の風物詩・街づくり型イルミネーションとして「ヨコハマミライト～みらいを照らす光のまち～」は、2021年度についても11月11日より開催中である。近隣住民並びに近隣企業との協調により、唯一無二のイルミネーションとして継続的な取組として定着させるべく脱炭素/省エネルギーに関する意識が高まる開催期間中に市民参加型「SDGsアートウォール・プロジェクト」を開催する。</p> <p>尚、本施策については、2020年度イルミネーション開催に伴い「みなとみらい本町小学校」から寄せられた複数のメッセージ「海がきれいなみなとみらい」「緑がいっぱいある未来」に応えるべく「横浜美術館の改修工事」により設置される仮囲いを活用し実施する。海洋プラスチックを材料としメッセージ性のある「アート・ウォール」により仮囲い設置に伴い周辺の様子が判らないことで与えてしまう不安を払拭し安心感を与えることが可能となる他、防犯意識・景観向上に寄与すること並びに地区内の各施設、来街者に対して「脱炭素社会」への意識向上を目指すものである。</p> <p>特記事項：近隣施設である「マークイズみなとみらい」独自SDGs企画（good）と連携することで来館者を効率よくワークショップへ誘引、みなとみらい本町小学校との関係強化。（授業の一環として5年生の児童が参加）。告知についても館内サインージ、施設HP、ヨコハマミライトのHPにて行い不要な印刷物の抑制に努めた。参考：来館者参加数/120組（親子）本町小学校参加数/54名</p> <p>※アートウォール作品掲出に際し「横浜市都市整備局・環境創造局・文化観光局・清水・小俣・三木建設共同企業体」及び横浜美術館などの協力により実現</p>	





工事の仮囲いを有効活用しつつ、脱炭素、省エネの推進を目に見える形で示す取組として（環境の側面）、小学校と連携した取り組みとして（社会の側面）、さらにイルミネーションによる誘客を図る取組（経済の側面）として、3つの側面に関わる取組である。今後、こうした取組が市内各所で展開されていくことに期待したい。

総合コーディネーター
麻生 智嗣